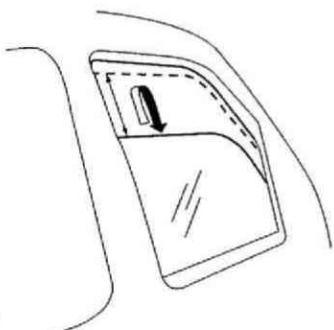


平成20年度版整備主任者研修資料

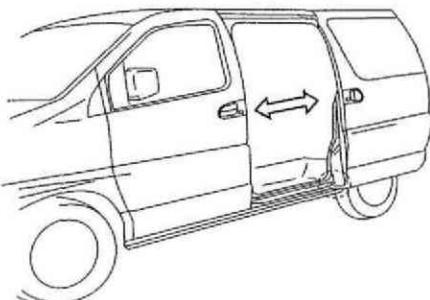
NISSAN

挟み込み防止システム 初期化要領

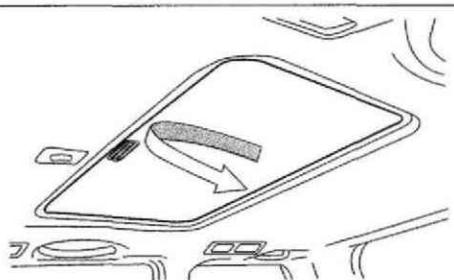
パワーウィンドウ



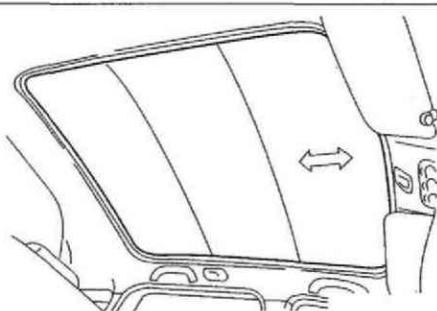
オートスライドドア



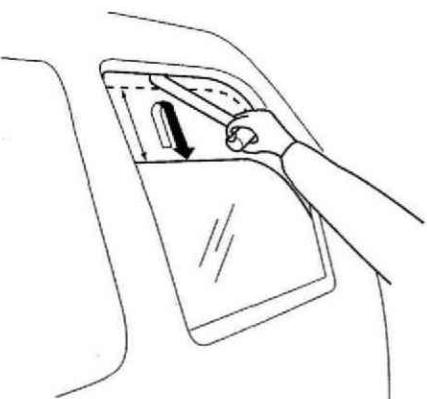
サンルーフ



サンルーフシェード



パワーウィンドウの挟み込み防止機能の点検



【点検方法】

1. ドアガラスを全開にする。
2. オートUPでドアガラスを全閉作動させる。
3. 木片を挟み込み検出後にガラスが反転し、約150mmまたは約2秒間（J10は3秒）下降し、その後停止することを確認する。
4. 反転下降中にパワーウィンドウメインスイッチを操作してもガラスが上昇しないことを確認する。

■ 注意 ■

絶対に手など身体の一部を挟み込ませて点検しないこと。また挟み込まれないよう注意して作業すること。

《初期化が必要な作業例》

挟み込み防止機能が働かない場合又は下記作業等を実施した場合は初期化を行なうこと。

パワーウィンドウ	<ul style="list-style-type: none">レギュレーターの取り外し、取り付け。レギュレーターからのモーター取り外し、取り付け。レギュレーターを単体で作動。ガラスの取り外し、取り付け。ドアグラスランの取り外し、取り付け。バッテリー端子の取り外し、電源ヒューズ切れなどによりパワーウィンドウスイッチ、モーターへの電源が遮断された時。パワーウィンドウメインスイッチのハーネスコネクタを外した時。	パワーウィンドウシステム
サンルーフ	<ul style="list-style-type: none">サンルーフ作動中にバッテリーの脱着を行った場合。サンルーフ作動中にバッテリー電圧が著しく低下した場合。サンルーフ作動中にサンルーフモーター Assy コネクターを外した場合。サンルーフが自動で開閉できない、又は開方向に作動できない場合。サンルーフモーター交換時及び取り外したモーターを作動させた時。バッテリー脱着。5回以上挟み込み機能が連続作動した時。(Y50、M35、Z11、C25)サンルーフモーター脱着、交換。	サンルーフシステム
サンルーフシェード	<ul style="list-style-type: none">作動中にバッテリーターミナルの脱着を行った、又は電圧が著しく低下した場合。サンルーフシェード ASSY を交換した場合。オート機能が作動しない場合。挟み込み防止機能が作動しない場合。異常なサンルーフシェード位置を検出した場合。作動中にサンルーフシェードモーターの交換を行った場合。自動で開閉できない場合、又は開方向に作動できない場合。 <p>【参考】B30型車はサンルーフシェード停止後のバッテリー交換、全閉位置でサンルーフシェード ASSY の交換を行った場合は、初期化の必要はなし。</p>	サンルーフシェードシステム
スライドドア	<ul style="list-style-type: none">IPDM CAB 又は、オートスライドドアユニットを新品と交換した場合。ドア脱着、建付調整、学習誤入力時。バッテリー脱着や電圧降下によりオートスライドコントロールユニットがリセットされた場合。オートスライドドアコントロールユニット又はオートスライドドアユニットを新品と交換した場合。	スライドドアシステム

《サンルーフシェード初期化（リセット）操作要領》

【SS-1】

- キースイッチをONにする。
- サンルーフシェードが全閉位置にあることを確認する。（サンルーフシェードが全閉位置になく、オート作動できない場合は閉スイッチを繰り返し操作し全閉にし、スイッチを放す。）
- 閉スイッチを30秒以上押し続ける。（サンルーフシェードは全閉位置よりさらに前方へ作動する。）
- 一度閉スイッチを放し、10秒以内に再度閉スイッチを押し続ける。[3秒後にサンルーフシェードは開作動（全開）し、その後閉作動（全閉）が行われる。（この間も閉スイッチを押し続けること。）]
- サンルーフシェードが正常に作動することを確認する。

【SS-2】

- サンルーフシェードを全閉にする。
- CLOSEスイッチを10秒以上押し続ける。
- CLOSEスイッチを押したままの状態で、サンルーフシェードが全閉位置からさらに前方へ動き、再び全開位置まで戻って停止する。
- CLOSEスイッチを放す。
- 5秒以内に、再びCLOSEスイッチを押し続ける。
- CLOSEスイッチを押したままの状態で、全閉位置から開方向へ作動を始め、全開位置で停止後再び閉方向へ動き、全閉位置まで戻って停止する。
- CLOSEスイッチを放す。
- サンルーフシェードスイッチを操作し、サンルーフシェードが正常に作動すれば初期設定完了。

≪サンルーフ初期化（リセット）操作要領≫

【SR-1】

☆V35型車はチルトUPスイッチをCLOSE側スイッチと読み替える。

1. チルトUPスイッチを押し、チルトUPさせる。
2. 一旦チルトUPスイッチを放し、再度リッドが動き出すまでチルトUPスイッチを押し続ける。
3. リッドがチルトUP方向に僅かに作動し、機械的な停止後に自動的に全閉位置で停止する。
(この間、チルトUPスイッチは押し続ける。)
4. 一旦チルトUPスイッチを放し、10秒(V36系型車は6秒)以内にチルトUPスイッチを押す。
5. 約4秒後自動的にリッドが、スライドOPEN → スライドCLOSE → チルトUP → チルトDOWNと作動する。
(この間、チルトUPスイッチは押し続ける。)
6. 停止後、0.5秒以上経過した後にチルトUPスイッチを放す。
7. スライドスイッチを操作し、サンルーフが正常に作動すれば初期設定は終了。

【SR-2】

1. サンルーフ（※）が全閉状態であることを確認する。

■注意■

- ・サンルーフ（※）が全閉状態でない時は、サンルーフスイッチのチルトDOWN/スライドCLOSE側を繰り返し操作し、全閉状態まで作動させる。

2. サンルーフスイッチ（C25は前）のチルトDOWN/スライドCLOSE側を1秒以上押し続ける。

■注意■

- ・C25はサンルーフスイッチ（後）では初期設定は出来ない。

3. サンルーフスイッチを操作し、正常にオート作動することを確認する。

※C25はリヤ

【SR-3】

【初期設定1】

以下の作業を行った（又は現象が起こった）場合、サンルーフを正常に作動させるために初期設定1を行う必要がある。

リヤサンルーフ作動中に、バッテリーケーブルの脱着。サンルーフモーターの脱着、交換。リヤサンルーフ作動中にバッテリー電圧が著しく低下した場合。

1. CLOSEスイッチを押し、リッドを全閉させる。

参考：スイッチ操作はサンルーフメインスイッチリヤ又はリヤサンルーフスイッチで行える。

2. 一旦CLOSEスイッチを放し、再度リッドが動き出すまでCLOSEスイッチを押し続ける。

3. 約10秒後リッドがCLOSE方向に僅かに作動し、機械的な停止後に自動的に全閉位置で停止する。
(この間、CLOSEスイッチは押し続ける。)

4. 一旦CLOSEスイッチを放し、6秒以内に4秒以上CLOSEスイッチを押す。

5. 自動的にリッドが“スライドOPEN”→“スライドCLOSE”と作動する。（この間、CLOSEスイッチは押し続ける。）

6. 停止後、0.5秒以上経過後にCLOSEスイッチを放す。

7. リヤサンルーフが正常に作動することを確認する。（初期設定1完了）

【初期設定2】

以下の作業を行った（又は現象が起こった）場合、サンルーフを正常に作動させるために初期設定2を行う必要がある。

サンルーフを連続5回以上反転作動させた時。何らかの異常によりリヤサンルーフリッドが正常に閉まらなくなった時。

1. サンルーフ反転作動後5秒以内にCLOSE側に押し、そのまま押し続ける。

参考：スイッチ操作はサンルーフメインスイッチリヤ又はリヤサンルーフスイッチで行える。

2. CLOSEスイッチを押し続けると、リヤサンルーフリッドは自動的にCLOSE方向に寸動（約40mmの作動、停止の繰り返し）を行い、全閉状態で停止する。

3. CLOSEスイッチを放す。

4. リヤサンルーフが正常に作動することを確認する。（初期設定2完了）

【SR-4】

1. ガラスリッドが全閉である事を確認する。

■注意■

- ・ガラスリッドが全閉状態でない時は、スライドスイッチを閉方向に繰り返し操作し、全閉状態まで作動させる。

2. スライドスイッチのCLOSE側を1秒以上押し続ける。

3. サンルーフ各スイッチを操作し、正常に作動することを確認する。

【 SR-5 】

- リヤサンルーフリッドが全閉状態であることを確認する。
- 前席のリヤサンルーフスイッチのCLOSE側を1秒以上押し続ける。
- リヤサンルーフスイッチを操作し、オート作動が正常に作動することを確認する。
- 終了。

■注意■

- 後席の操作スイッチでは初期化は出来ない。

■参考■

- リヤサンルーフリッドが全閉状態ではない時は、前席サンルーフスイッチをCLOSE側に繰り返して（1操作でリッドが約40mm移動）全閉状態まで作動させる。

【 SR-6 】

- キースイッチをONにする。
- サンルーフが全閉位置にあることを確認する。（サンルーフが全閉位置になく、オート作動できない場合は、閉スイッチを繰り返し操作し、全閉にし、スイッチを放す。）
- チルトアップするまで、閉スイッチを押し続け、その後スイッチを放す。
- 再度閉スイッチを押し続けると、4秒経過後、サンルーフは全閉作動を行なう。
- 初期化完了。

《オートスライドドア初期化（リセット）操作要領》

【 SD-1 】

- 手動でスライドドアを全閉にする。（U31はスライドドアメインスイッチOFFで行うこと。）
ドアが全閉状態になっていることを確認してから、スライドドアメインスイッチをONにする。
この全閉動作で、初期化は終了。

■注意■

- スライドドア全閉位置でバッテリーを接続した場合は、接続直後に全閉位置を検出する。以降通常のオート作動となる。
- 初期化が行われていない状態では、オート作動時のドア速度が一定のためドアの動きがぎこちない。又、反転荷重も通常より重いので注意すること。

【 SD-2 】

- 手動又はオート作動でスライドドアを全閉にする。

■注意■

- スライドドア全開、又は途中位置でバッテリーを接続した場合は、運転席スイッチ、又はリモコンスイッチ1回目の操作でオート開作動し全開位置で停止後、2回目の操作でオート閉作動をし、全閉位置を検出する。
以降通常のオート作動となる。
- スライドドア全閉位置でバッテリーを接続した場合は、接続直後に全閉位置を検出する。以降通常のオート作動となる。
- 初期化が行なわれていない状態では、オート作動時のドア速度が一定のためドアの動きがぎこちない。又、反転荷重も通常より重いので注意すること。

【 SD-3 】

- ドアを全開、又は半ドアにする。
- メインスイッチ : OFF
- キースイッチ : ON (IGN ON)
- A/Tセレクトレバー : プレンジ
- パーキングブレーキ : ON
- フットブレーキONのまま10秒以内に運転席スイッチを10回押す。
- 上記操作作業終了後3秒以内にメインスイッチ ON。
- 消去完了ブザー吹鳴する。(0.5秒)
- 手動又は運転席スイッチを0.5秒以上押しドアを全閉にする。
- 運転席スイッチを0.5秒以上押しドアを全開にする。
- 運転席スイッチを0.5秒以上押しドアを全閉にする。
- 終了。

■注意■

- スライドドアを開けた状態でバッテリーの脱着、バッテリーケーブルの取り外しを行うと初期設定を行う必要がある。

既学習内容消去操作

初期化操作

《パワーウィンドウ初期化（リセット）操作要領》

【 PW-1 】

車両に各部品を組み付け後下記手順で行う。

1. レギュレータAssyからパワーウィンドウモーターを取り外す。
2. パワーウィンドウモーターにドアハーネスを取り付け、モーター単体をガラス上昇方向へ6回転（4秒）以上回す。
3. パワーウィンドウモーターをレギュレータAssyに取り付ける。
4. ドアガラスを上死点まで上げる。

■注意■

- ・ガラスを上死点まで上げる時は、オート操作は行わないこと。

【 PW-2 】

ドアパネルからモジュールAssyを取り外した後、下記手順で行う。

1. モジュールAssyからレギュレータAssyを取り外す。
2. レギュレータAssyからパワーウィンドウモーターを取り外す。
3. パワーウィンドウモーターにドアハーネスを取り付け、モーター単体をガラス上昇方向へ5回転以上回す。
4. レギュレータAssyにパワーウィンドウモーターを取り付ける。
5. レギュレータAssyをモジュールに取り付ける。
6. モジュールAssyをドアパネルに組み付け、ドアガラスを組み付ける。
7. ドアガラスを上死点まで上げる。

■注意■

- ・ガラスを上死点まで上げる時は、オート操作は行わないこと。

【 PW-3 】

1. バッテリーマイナス端子またはパワーウィンドウスイッチのハーネスコネクタを一旦外し、1分以上放置後に再度接続する。
2. キースイッチをONにする。
3. パワーウィンドウスイッチを操作してガラスを全開状態にする。（既にガラス全開状態のときこの作業は不要。）
4. パワーウィンドウスイッチをUP方向に強く引き上げ続け（オートUP作動）、ガラスが全閉位置で停止した後もスイッチを3秒以上引き上げ続ける。
5. 挾み込み防止機能点検を実施する。

■注意■

- ・開閉操作を連続して行なうと、初期化がキャンセルされる場合があるので、この場合は初期化を行う。

【 PW-4 】

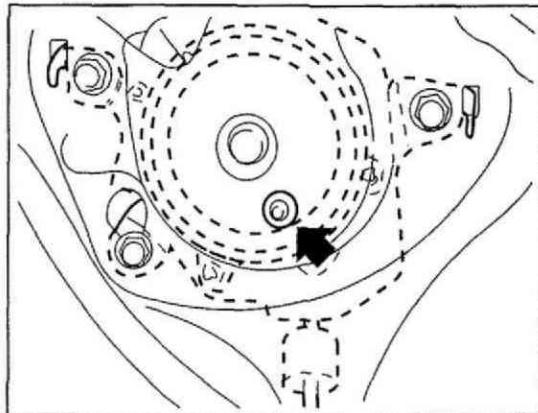
1. ガラスを全閉位置まで上げる。
2. リセットスイッチを押したままガラスを全開位置まで下げる。
3. リセットスイッチを放しリセットスイッチが元に戻ったことを確認後ガラスを全閉位置まで上げる。

■注意■

- ・ガラスを上死点まで上げる時は、オート操作では行わないこと。

【Z33型車及びCV35の場合】

初期化操作要領1から3を行なう場合にはドアスイッチOFF状態（ドア閉又はスイッチを押す）としマニュアル操作で行なう。



「**挟み込み防止機能車種別一覧**」

作動条件と初期化手順

☆は挟み込み防止機能が付いているが初期化作業は不要

車名	型式	年式	挟み込み防止機能						
			パワーウィンドウ		サンルーフ	サンルーフ シェード	リヤサン シェード	スライドドア	トランク
			運転席	運転席以外					
プレジデント	PF50	2003/10~	PW-4	◀	☆				☆
シーマ	F50	2001/01~	PW-3	—	SR-2			—	
フーガ	Y50	2004/10~	PW-2	—	—			—	
ティアナ	J31	2003/02~	○ PW-4	◀	—			—	
	J31	2004/06~	PW-4	—	SR-5			—	
フェアレディZ	Z33	2002/07~	PW-3	◀	SR-1			—	
ステージア	M35	2001/10~	—	—	—			—	
スカイライン	V35	2001/06~	PW-3	—	—			—	
	V36	2006/11~	PW-3	◀	—			—	
スカイラインクーペ	CV35	2003/01~	○ PW-4	—	—			—	
	CV36	2007/10~	○ PW-3	—	—			—	
フルーバードシルフィ	G11	2005/12~	PW-3	—	—			—	
ウイングロード	Y12	2005/11~	—	—	—			—	
ティーダ	C11	2004/09~	PW-4	—	SR-4			—	
ティーダラティオ	SC11	2004/10~	—	—	—			—	
マーチ	K12	2002/02~	PW-3	—	—			—	
キューブ	Z11	2002/10~	—	—	SR-6			—	
キューブキューピック	GZ11	2003/09~	PW-4	—	—	SS-2		SD-2	
ノート	E11	2005/01~	—	—	—	—		—	
エクストレイル	T30	2000/10~	PW-3	—	SR-3			SD-1	
	T31	2007/08~	—	—	SR-2	—		SD-3注	
ラフェスタ	B30	2004/12~	PW-4	—	—	—		—	
サファリ	Y61	1999/09~	—	—	SR-1	—		—	
プレサージュ	U31	2003/06~	PW-3	—	—	—		—	
セレナ	C25	2005/05~	PW-4	—	—	—		—	
エルグランド	E51	2002/05~	PW-1	—	—	—		—	
ムラーノ	Z50	2004/09~	PW-3	—	—	—		—	
デュアリス	J10	2007/05~	PW-3	—	—	—		—	
作動条件			• キースイッチ ON 時の オート UP 作動時 • キースイッチ ON 以外 (タイマー作動) の UP 作動時 ○バーシャルダウン ウインドウ機能付		オート閉時			オート閉時 注) オート 閉開時	オート閉時

タイマー作動

- パワーウィンドウメインスイッチはキースイッチをOFF後15分間、パワーウィンドウの操作が可能。

【タイマー機能キャンセル条件】

- 運転席ドア開(ドアスイッチON)→閉(ドアスイッチOFF)。
- キースイッチを再度ONにした時。
- タイマー時間が経過した時。(15分間)

バーシャルダウンウインドウ機能

- 運転席又は助手席ドアを開けた時、そのドアのウインドウガラスを約10mm下降させ、ドア閉後に全閉位置まで上昇させる機能。

【下記の時は作動しません】

- バーシャルダウンウインドウ自動下降始動時、ウインドウガラス全閉位置から10mm以上開いている。
- バーシャルダウンウインドウ自動下降作動中のドアを閉める。